

令和6年度大分市障害者自立支援協議会

日 時：令和7年2月18日（火）10：00～11：30

場 所：大分市役所別館多目的会議室

【次 第】

1 開 会

2 議 事

（1）第6期大分市障害福祉計画・第2期大分市障害児福祉計画の実績報告

（2）相談支援体制の充実・強化について

（3）各専門部会の令和6年度活動報告

3 その他

4 閉 会

大分市障害者自立支援協議会委員名簿

任期 令和5年7月1日から令和7年6月30日まで

	職 名	氏 名
1	社会福祉法人大分市社会福祉協議会 会長	江 藤 郁
2	国立大学法人大分大学福祉健康科学部 准教授	滝 口 真
3	大分市身体障害者福祉協議会連合会 会長	木 村 幸 二
4	大分療育センター地域療育連携室 室長補佐	欠 森 千 春
5	大分こども発達支援センター 相談支援専門員	欠 黒 島 加 奈
6	大分県立新生支援学校 教頭	欠 三 原 彰 夫
7	大分公共職業安定所 統括職業指導官	新 古 山 裕 之
8	大分県中小企業家同友会大分支部副支部長	新 岩 尾 雅 史
9	大分市民生委員児童委員協議会 障がい者福祉部会 部会長	橋 本 和 子
10	大分市ボランティア連絡協議会 会長	工 藤 福 成
11	障害者就業・生活支援センター大分プラザ センター長	釘 宮 慶 太
12	あんしんサポートセンター大分 主査	鶴 原 久 実
13	一般社団法人大分市手をつなぐ育成会 理事長	齊 藤 國 芳
14	大分県精神保健福祉会大分すみれ会 副会長	阿 南 静 生
15	大分市肢体不自由児者父母の会 会長	秋 吉 一 恵
16	大分県精神保健福祉士協会 協会員	佐 藤 京 子
17	大分市聴力障害者福祉会 常任理事	加 藤 順 子
18	大分市自治会連合会 大津町二丁目町内会長	欠 山 下 順 子
19	大分市知的障害者施設協議会（社会福祉法人シンフォニー）	森 渕 晶 子
20	社会福祉法人幸福会 理事長	花 宮 良 治
21	特定非営利活動法人レガール 理事長	米 澤 幸 宏
22	特定非営利活動法人大分県難病・疾病団体協議会 理事	欠 早 野 真 弓
23	大分市地域包括・在宅介護支援センター協議会（大分地域包括支援センター長）	藤 本 修 士
24	就労継続支援B型事業所「ワーク大分すみれ会」利用者	後 藤 秀 信
25	特定非営利活動法人いのちきサポート 理事長	豊 田 昭 知
26	就労継続支援A型事業所「ソレイユ」利用者	吉 田 友 哉
27	障害者相談支援センター「もりのおうち」課長	金 澤 康 隆
28	医療法人謙誠会 博愛こども成育医療センター 部長	新 柴 山 竜 太 郎
29	大分市障がい者相談支援センター「きぼう21」	芦 苺 弘 城
30	大分市障がい者相談支援センター「コーラス」	矢 野 太 亮
31	大分市障がい者相談支援センター「さざんか」	新 上 村 加 代
32	大分市教育委員会大分市教育センター 所長	新 小 野 里 香
33	大分市子どもすこやか部長	欠 高 橋 賢 次
34	大分市福祉保健部長	欠 斉 藤 修 造

第6期大分市障害福祉計画・第2期大分市障害児福祉計画の実績報告について

本計画は令和3年度から令和5年度末を計画期間とし、国の定める基本指針に即して、具体的な数値目標を設定して、障がい者（児）の地域生活への移行や就労支援などに取り組んできました。

今回は各項目について「令和5年度末の【目標】」に対する「令和5年度末の【実績】」を踏まえて、以下の4段階での評価を行いました。

A: 目標を達成した数値となっている B: 目標の5割以上に達している
C: 目標の2割以上5割未満となっている D: 目標の2割未満に留まっている

1. 入所施設から地域生活への移行

(1) 地域移行者数

数値目標及び実績	達成率	53.6%	評価
対象者(令和元年度末時点の施設入所者数)	466人		B
【目標】令和5年度までの地域生活への移行者数	28人	6.0%	
【実績】令和5年度までの地域生活への移行者数	15人	3.2%	

※国の指針は、令和元年度末時点の施設入所者から「6%以上」を地域生活へ移行する。

<参考> 地域生活移行者数の推移

年度	第4期			第5期			第6期		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
地域生活移行者数	21人	17人	14人	6人	6人	2人	4人	3人	8人
3年度累計	52人			14人			15人		

(2) 施設入所者数の削減

数値目標及び実績	達成率	-62.5%	評価
対象者(令和元年度末時点の施設入所者数)	466人		D
【目標】令和5年度の削減人数	8人	1.7%	
【実績】令和5年度の削減人数	△5人	-1.1%	

※国の指針は、令和元年度末時点の施設入所者数から「1.6%以上」を削減する。

(3) 令和5年度末の施設入所者数

数値目標及び実績			評価
対象者(令和元年度末時点の施設入所者数)	466人		D
【目標】令和5年度末の施設入所者数	458人	98.3%	
【実績】令和5年度末の施設入所者数	471人	101.1%	

※国の指針は、令和元年度末時点の施設入所者数から「1.6%以上」を削減する。

<参考> 施設入所者数の推移

年度	H29末	H30末	R1末	R2末	R3末	R4末	R5末
施設入所者数	458人	466人	466人	471人	470人	467人	471人

[評価と今後の対応]

地域生活への移行等による退所が見込まれる一方で、障がい程度や保護者の高齢化などにより入所に対するニーズが高いことから、「施設入所者数」は減少していない。一方、グループホーム及びその利用者数はともに増加しており、今後もグループホームの整備等によって、住まいの場の拡充を図ることで障がい者の地域移行を推進する。

2. 地域生活支援拠点等が有する機能の充実

(1) 大分市障害者自立支援協議会において、「大分市障がい者相談支援センター」の運営状況について、年1回検証及び検討する

≪ 数値目標及び実績 ≫

	達成率	100.0%	評価
障害者自立支援協議会における検証及び検討回数(年)	1 回		A
【目標】令和5年度の検証・検討回数	1 回	100.0%	
【実績】令和5年度の検証・検討回数	1 回	100.0%	

[評価と今後の対応]

今後も本協議会において、検証・検討を行うこととする。

3. 福祉施設から一般就労への移行

(1) 一般就労移行者数

≪ 数値目標及び実績 ≫

	達成率	82.5%	評価
基準となる数値(令和元年度の実績)	81 人		B
【目標】令和5年度の一般就労移行者数	103 人	127.2%	
【実績】令和5年度の一般就労移行者数	85 人	104.9%	

※国の指針は、令和元年度末時点の移行者数から「1.27倍」とする

<参考> 一般就労移行者数の推移

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
一般就労移行者数	87 人	82 人	81 人	55 人	77 人	78 人	85 人

(2) 就労移行支援事業利用者数(一般就労前の所属)

≪ 数値目標及び実績 ≫

	達成率	67.9%	評価
基準となる数値(令和元年度の実績)	21 人		B
【目標】令和5年度の一般就労への移行者数	28 人	133.3%	
【実績】令和5年度の一般就労への移行者数	19 人	90.5%	

※国の指針は、令和元年度末時点の移行者数から「1.30倍」とする

(3) 就労継続支援A型事業利用者数(一般就労前の所属)

≪ 数値目標及び実績 ≫

	達成率	112.5%	評価
基準となる数値(令和元年度の実績)	19 人		A
【目標】令和5年度末の一般就労移行者数	24 人	126.3%	
【実績】令和5年度末の一般就労移行者数	27 人	142.1%	

※国の指針は、令和元年度末時点の移行者数から「1.26倍」とする

(4) 就労継続支援B型事業利用者数(一般就労前の所属)

《 数値目標及び実績 》	達成率	95.1%	評価
基準となる数値(令和元年度の実績)	33 人		B
【 目標 】令和5年度の一般就労移行者数	41 人	124.2%	
【 実績 】令和5年度の一般就労移行者数	39 人	118.2%	

※国の指針は、令和元年度末時点の移行者数から「1.23倍」とする

(5) 就労定着支援事業の利用率

《 数値目標及び実績 》	達成率	67.1%	評価
一般就労へ移行する者が就労定着支援事業を利用する割合	70 %		B
【 目標 】令和5年度の利用割合	70 %	100.0%	
【 実績 】令和5年度の利用割合	47 %	67.1%	

※国の指針は、令和5年度末時点の就労定着支援事業を利用する人数の見込みを7割とする

(6) 就労定着率が8割以上の事業所の率

《 数値目標及び実績 》	達成率	107.1%	評価
就労定着支援事業の割合	70 %		A
【 目標 】令和5年度末までの利用割合	70 %	100.0%	
【 実績 】令和5年度末までの利用割合(6/8事業所)	75 %	107.1%	

※国の指針は、令和5年度末時点で就労定着率が8割以上の就労定着支援事業所の割合を全体の7割以上とする。

[評価と今後の対応]

一般就労移行者数は、目標値は達成していないが年々増加している。今後も商工労働観光部と連携しながら、職場見学及び実習の受入等に関する取組を進める。
また、就労支援部会等の取組を通じて、障害者就業・生活支援センター等の関係機関との連携を図るとともに、就労系福祉サービス事業所に対する質の確保等を図ることとする。

4. 障がい児支援の提供体制の整備

(1) 医療的ケア児等に関するコーディネーターの配置

《 数値目標及び実績 》	達成率	60.0%	評価
医療的ケア児等に関するコーディネーターの配置	15 人		B
【 目標 】令和5年度末の配置数	15 人	100.0%	
【 実績 】令和5年度末の配置数	9 人	60.0%	

[評価と今後の対応]

令和4年度以降、県が実施する養成研修が未開催となっていたが、令和7年度より再開される見込みとなった。
今後は新たなコーディネーターの活用に加え、医療的ケア児レスパイト事業等を通じて、医療的ケア児に対する支援体制の充実を図ることとする。

5. 相談支援体制の充実・強化

(1) 相談支援事業者に対する指導・助言件数の見込み

《 数値目標及び実績 》	達成率	100.0%	評価
専門的な指導・助言件数(年)	3 回		A
【 目標 】令和5年度の指導・助言件数	3 回	100.0%	
【 実績 】令和5年度の指導・助言件数	3 回	100.0%	

(2) 人材育成のための支援件数の見込み

達成率	300.0%	評価	
人材育成のための支援件数(年)	1回	A	
【目標】令和5年度の支援件数	1回		100.0%
【実績】令和5年度の支援件数	3回		300.0%

(3) 相談機関との連携強化の取組の実施回数を見込み

達成率	100.0%	評価	
相談機関との連携強化のための実施回数(年)	3回	A	
【目標】令和5年度の実施回数	3回		100.0%
【実績】令和5年度の実施回数	3回		100.0%

[評価と今後の対応]

今後も相談支援部会の「地区別・分野別部会」に加え、障がい者相談支援センターが主催する事例検討会の開催等により、相談支援専門員の質の確保や連携強化を図ることとする。

6. 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組

(1) 県が実施する研修会への市町村職員の参加人数の見込み

達成率	122.2%	評価	
県が実施する研修会への職員の参加人数	9人	A	
【目標】令和5年度の参加人数	9人		100.0%
【実績】令和5年度の参加人数	11人		122.2%

(2) 支払いシステムによる審査結果を分析し、事業所と共有する体制の有無と実施回数

達成率	100.0%	評価	
3年間の実施回数	1回	A	
【目標】令和5年度までの実施回数(3年間合計)	1回		100.0%
【実績】令和5年度までの実施回数	1回		100.0%

(3) 指導監査の適正な実施とその結果の共有と実施回数

達成率	300.0%	評価	
実施回数(年)	1回	A	
【目標】令和5年度の実施回数	1回		100.0%
【実績】令和5年度の実施回数	3回		300.0%

[評価と今後の対応]

今後も指導監査課が実施する「集団指導」や「運営指導」等を通じて、給付適正化に向けて取り組むこととする。

相談支援体制の充実・強化について

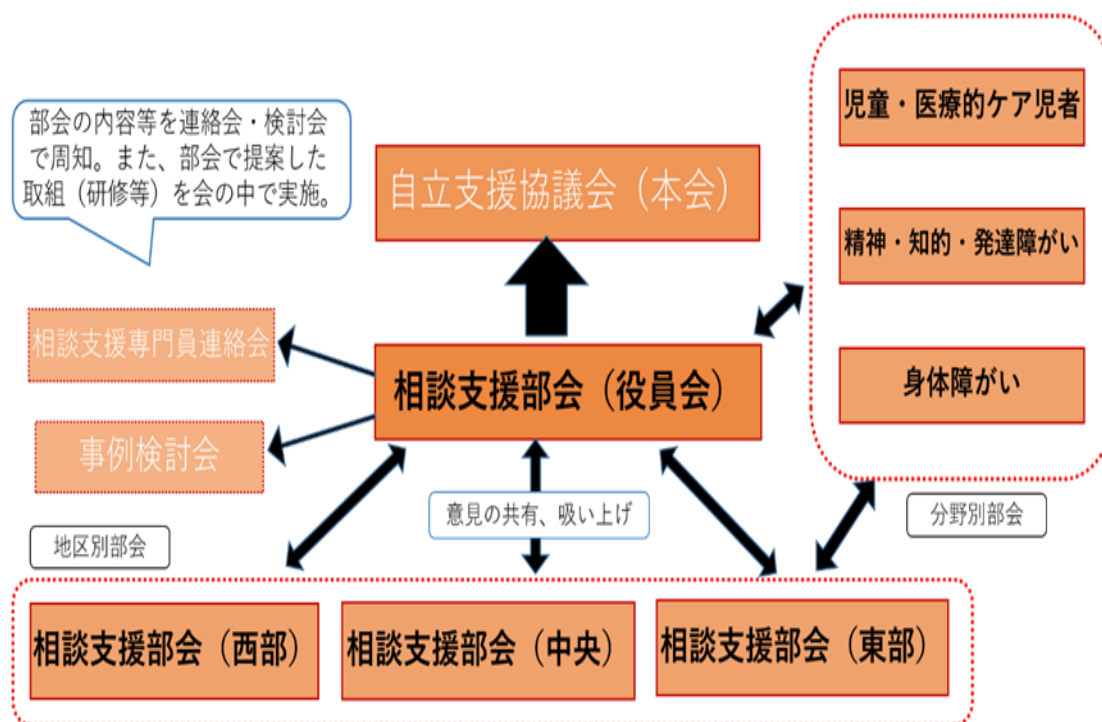
本市においては、令和3年2月に開催した本協議会において「第6期大分市障害福祉計画・第2期大分市障害児福祉計画」を推進するにあたり、相談支援部会の設置に関する提案をさせていただき、同年11月より取組を進めてきたところです。

一方、国においては、相談支援の中核的役割を担う「基幹相談支援センター」の設置が求められていることから、これまでの相談支援部会における取組も踏まえ、相談支援体制の充実・強化に関するご意見等をいただきたいと思います。

1. 相談支援部会の概要

相談支援部会（以下、「部会」という。）は、相談支援専門員同士の質の向上や連携強化等を目的として、障がい者相談支援センター（委託相談事業所）職員を含む6名の「部会役員」を中心に企画・運営を行っており、相談支援専門員全員を「部会員」として位置付けました。

また、市内の特定相談支援事業所が所在する地区（中央・東部・西部）ごとに、全体の課題等について意見交換を行う「①地区別部会」に加え、専門分野に関する調査・研究等を行う「分野別部会（②児童・医療的ケア児者、③身体障がい、④精神・知的・発達障がい）」の4つの部会に分けてそれぞれ取組を進めています。



2. 部会ごとの取組

①地区別部会

相談支援専門員同士のネットワーク化を図るため意見交換を実施するとともに、「相談支援専門員が円滑な計画相談作成を行うことができるようなマニュアルが欲しい」との意見を踏まえ、「大分市計画相談支援マニュアル」を作成しました。

今後はこのマニュアルを活用することで、利用者に質の高い計画相談支援を提供することを目指します。

②児童・医療的ケア児部会

年代ごとの課題整理を行うとともに、障がい児通所支援事業以外の「子育てに関する支援」「特別支援教育」等に関する知識を深めるために、「大分市子ども家庭支援センター」や「エデュ・サポートおおいた」の職員を招聘し、講義・意見交換等を行っています。

③身体障がい部会

障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行に当たり、手続きの流れやケアマネジャー（地域包括支援センター）との連携が難しいとの意見を踏まえ、まずは両者が共通理解すること目的として「介護保険移行マニュアル」を作成しています。

④精神・知的・発達障がい部会

複合的な課題が多いとの意見の中、発達障がいの特性を理解するために「大分県発達障がい者支援センターECOAL（イコール）」や、就労支援に関する知識を深めるために「労働基準監督署」「障害者就業・生活支援センター（大分プラザ）」など様々な関係機関の職員を招聘し、意見交換等を行いました。

また、医療関係者との連携を図るために「衛藤病院」のソーシャルワーカーや他市の相談支援専門員による講義・意見交換を行っています。

3. 今後の取組及び活動を通じて抽出された課題

分野別部会においては、より円滑な支援体制の構築のため、引き続き関係機関との連携を進めていきます。また、全体の課題としては、支援が困難な場合に相談し合えるつながり作り、スキルアップを目的とした研修や事例検討等の機会を増やすといった相談支援専門員自身を支援する体制の構築が求められています。

今後も相談支援部会の意見交換等を通じて相談支援専門員同士の連携は深めていくとともに、「部会役員」だけでなく事業所や地域において指導的役割を担う「主任相談支援専門員」等が中心となり、研修等を企画することが求められます。

4. 基幹相談支援センターの設置について

令和4年12月に障害者総合支援法が改正され、「市町村は基幹相談支援センターの設置に努めるもの（令和6年度より努力義務）」と規定されるとともに、基幹相談支援センターの役割として、「地域の相談支援強化の取組」と「地域づくり」が新たに追加されました。

国が示した機能・役割やこれまでの取組等を踏まえ、本市といたしましては、「障がい者相談支援センター」を「基幹相談支援センター」へ移行することを検討します。

(参考1) 国が示した基幹相談支援センターの役割

基幹相談支援センターについて

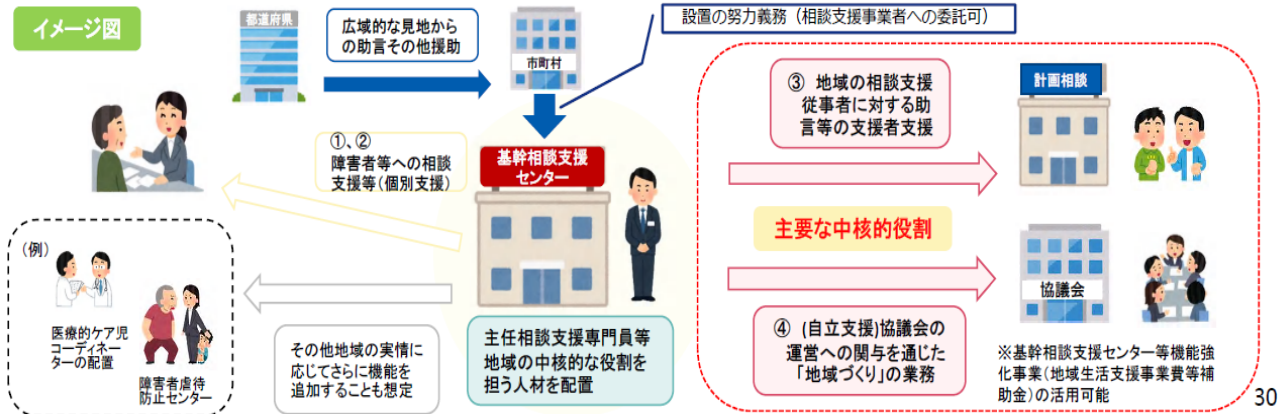
基幹相談支援センターとは(障害者総合支援法第77条の2第1項)

※令和6年4月1日施行

- 市町村は、基幹相談支援センターを**設置するよう努める**ものとする。(法第77条の2第2項) **新**
(一般相談支援事業、特定相談支援事業を行うものに対し、業務の実施を委託することができる(同条第3項))
 - **地域における相談支援の中核的な役割を担う機関**として、次に掲げる事業及び業務を**総合的に行うこと**を目的とする**施設**。※施設は必ずしも建造物を意味するものではなく、業務を行うための場所のこと。
 - ① 障害者相談支援事業(77条1項3号)・成年後見制度利用支援事業(77条1項4号)
 - ② 他法において市町村が行うとされる障害者等への相談支援の業務

} 個別支援(特にその対応に豊富な経験や高度な技術・知識を要するもの)

(身体障害者福祉法9条5項2号及び3号、知的障害者福祉法9条5項2号及び3号、精神保健福祉法49条1項に規定する業務)
 - 新** ③ **地域の相談支援従事者に対する助言等の支援者支援**
(地域における相談支援・障害児相談支援に従事する者に対し、一般相談支援事業・特定相談支援事業・障害児相談支援事業に関する運営について、相談に応じ、必要な助言、指導その他の援助を行う業務)
 - 新** ④ **(自立支援)協議会の運営への関与を通じた「地域づくり」の業務**
(89条の3第1項に規定する関係機関等の連携の緊密化を**促進する**業務) ③④が主要な「中核的な役割」
- ※ また、**都道府県**は、市町村に対し、基幹相談支援センターの設置の促進及び適切な運営の確保のため、**広域的な見地からの助言その他援助を行うよう努める**ものとされている。(同条第7項) **新**



(参考2) 本市における基幹相談支援センター設置に向けた方向性(案)

機能・役割		現行の取組	充実・強化すべき取組(案)
地域の相談支援の中核的な役割	地域の相談支援体制の強化(相談支援従事者への支援)	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援部会による取組 事例検討会の開催など 相談支援事業者への後方支援 	現行の取組に加えて <ul style="list-style-type: none"> 主任相談支援専門員との協働 個別のスーパーバイズ
	地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> 部会等を通じた関係機関との連携強化 	現行の取組に加えて <ul style="list-style-type: none"> 協議会事務局として参画
住民に対する個別の相談支援	地域生活支援事業に関する業務	<ul style="list-style-type: none"> 障害者・保護者等からの相談に応じ、必要な情報提供、助言その他の便宜供与 虐待防止及び早期発見のための関係機関との連絡調整、必要な援助 成年後見制度の利用が困難である者に対する費用助成に関する支援 	
	障がい者等に対する情報提供、助言・指導等に関する業務	身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者について <ul style="list-style-type: none"> 障がい者の福祉に関し、必要な情報の提供 障がい者の相談に応じ、必要な調査を行い、助言、指導等を実施 	

各専門部会の令和6年度活動報告

1. 差別解消推進部会

概要	障がい者や家族等からの相談及び当該相談に係る事例を踏まえ、障がいを理由とする差別の解消に向けた検討を行います。
主な取組 (協議内容)	<p>①障害者差別解消法に関する普及啓発</p> <p>ア 障害者差別解消法に関する周知啓発活動の実施 令和6年10月19日(土)の「輪い笑いフェスタ」及び11月16日(土)のスイスフェアにおいて、イベントチラシとともに啓発用チラシの入ったポケットティッシュ等を配布しました。</p> <p>イ 心のバリアフリー研修の実施 7回(延べ参加者数 約360人)</p> <p>ウ 市報及びホームページにおける障害差別解消法に関する掲載</p> <p>②差別解消推進部会の開催</p> <p>令和7年1月9日に開催し、障がいを理由とした差別に関する相談事例の共有や協議を行いました。</p> <p>ア 市役所内で収集した相談事例 2件 イ 相談支援専門員より収集した相談事例 0件</p> <p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障がい者が手話通訳者を伴わずに市有施設へ行った際、可能な範囲で筆談等による対応をお願いしたい。 ・「合理的配慮の提供」に関するチラシを新たに作成したと聞いたが、視覚障がい者は見ることができないため、市の施策で視覚障がい者に伝えたい事項があれば、点字版も作成するようお願いしたい。
特記事項	来年度も相談事例の収集や効果的な周知方法等について検討します。

2. 就労支援部会

概要	障がい者の一般就労等への支援や民間企業との連携等をテーマとして、就労系福祉サービス事業所の質の向上や関係機関との連携を図る。
主な取組 (協議内容)	<p>①就労ピアサポートサロンの開催</p> <p>就職活動または一般就職している障がい者に対する「交流・情報交換の場」として、毎月第3日曜日にJ:COMホルトホール大分で開催するとともに、10月に開催した「輪い笑いフェスタ！（大分市福祉の集い）」においてブースを設置し、出張サロンを実施しました。 (令和7年1月末現在 参加者 75名)</p> <p>②社会資源ガイドブックのホームページ掲載</p> <p>障がいのある方やその家族等が、事業所を選ぶ際の参考となるよう、市内の就労支援事業所等の利用時間、作業内容および職員体制等の情報を本市のホームページに掲載しています。 (令和7年1月末現在 掲載事業所数 121)</p> <p>③就労系福祉サービス事業所等意見交換会（2月12日開催）</p> <p>ア 大分市版就労パスポート（案）について</p> <p>障がいのある方が自分の特徴や希望する配慮を整理し、事業所等と必要な支援について共有することを目的としたパスポートを作成することで、各事業所における日頃の訓練や一般就労に向けた支援に活用します。</p> <p>イ 相談支援専門員との意見交換</p> <p>これまでの事例等も踏まえ、双方の立場から円滑な利用者支援に向けた意見交換等を行いました。</p>

3. 子ども部会

概要	障がいの早期発見と隙間のない支援をテーマとして、関係機関のネットワークづくりを行う。
主な議事 (協議内容)	<p>子ども部会の開催（令和7年2月7日開催）</p> <p>①障がい児通所支援事業支給決定方法の見直しについて 障害児通所支援事業の適切な支給決定を行うことや、医療機関との適切な関わりを推進するため、令和8年度より小学校、中学校、高等学校に進学する児童生徒から更新申請時、進学の節目ごとに医師意見書や診断書等を再度取得していただくよう運用の見直しを検討しました。</p> <p>かかりつけ医によっては、児童生徒の発達状況や障害児通所支援事業所でどのような訓練を実施しているか情報がない可能性もあるため、かかりつけ医の求めに応じて事業の必要性を評価・判断するための「医師意見書等作成に係る情報提供書」のひな型を市が作成することとしました。</p> <p>②児童発達支援センターとの連携について 児童福祉法の改正等において、障がい児支援体制の整備にあたり、児童発達支援センターが中核的役割を担うよう示されたことから、市内の児童発達支援センターとの具体的な連携方法等について検討しました。</p> <p>次回の部会において、中核機能強化加算を算定している「児童発達支援センター」に参画を求め、地域の課題や今後の方向性を共有し、障害児通所支援事業所向けの研修をはじめとした具体的な取組を検討することとしました。</p>

4. 医療的ケア児部会

概要	保健、医療、保育、教育等の関係者により、医療的ケア児とその家族の支援に関する取組を行う。
主な取組 (協議内容)	<p>医療的ケア児支援検討部会の開催（2月書面開催予定）</p> <p>①医療的ケア児レスパイト事業※1の実施状況 今年度より開始した当該事業に関する利用状況などの報告を行います。</p> <p>※1 在宅で医療的ケア児の看護や介護を行う家族の負担軽減を図るため、医療保険の適用を超える利用や医療保険適用外となる自宅外での訪問看護サービスを年間100時間上限に提供しています。（R6年12月末現在 利用実績9名）</p> <p>②医療的ケア児等支援コーディネーター※2について 来年度より県が研修を再開することや、受講者については市町村が推薦するよう示されたことを踏まえ、推薦基準等に関するご意見を伺います。</p> <p>※2 主な活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人（家族）の状況に応じた支援チームづくり 本人と家族の情報を収集するとともに、支援に必要な医療、福祉、教育等によるチームを形成し、チームメンバーの連携と協働によって本人と家族の生活を支援します。 ・地域における支援体制の構築 医療的ケア児を支援するための協議の場に参画し、医療的ケア児の支援に必要な資源、サービスの向上など、活動によって浮かび上がってきた課題と目標を関係者で共有し、解決と実現に向けた連携体制を構築します。

5. 生活支援部会

概要 障がい者が地域で生活するために、高齢化、重度化等への対応や「親亡き後」を見据え、住まいや緊急時の対応等に関する支援を検討する。

①グループホームの空き情報に関するホームページ掲載

令和7年1月末現在 掲載数 149カ所

②市社協施設部会における「あんしんコール」に関する説明会（11月22日開催）

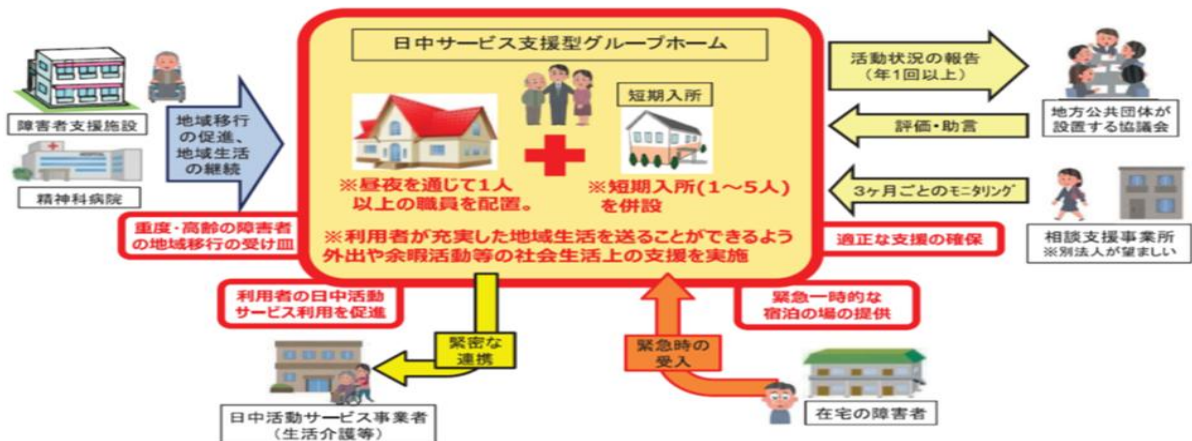
主に知的障害者施設等で構成される当該部会において、事業説明を改めて行うとともに、本事業に関する意見交換等を行いました。



③生活支援部会の開催（3月7日開催予定）

- ・ あんしんコールの実績報告
- ・ 日中サービス支援型グループホーム※の運営等に関する評価・助言

主な取組（協議内容）



※市内の日中サービス支援型グループホーム

法人名	(有)さくら荘	(株)システムコンサルタント
事業所名	日中サービス支援型グループホームさくら親児会1	3GIFT Living
定員	10人	20人

6. 相談支援部会

概要	相談支援専門員同士のつながりを強化することで、質の向上・人材育成や関係機関との連携強化に向けた取組を行う。
主な取組 (協議内容)	<p>①相談支援事業所の情報等に関するホームページ掲載 障がい者や家族等が相談支援事業所を探す際の参考となるよう連絡先や空き情報等を掲載しています。 (令和7年1月末現在 掲載事業所数 56)</p> <p>②「地区別」相談支援部会の開催 大分市計画相談支援マニュアルに関する意見交換等を行いました。 中央 7月16日(火) 西部 7月19日(金) 東部 7月22日(月)</p> <p>③「分野別」相談支援部会の開催(各2回)</p> <p>ア 児童・医療的ケア児部会 大分市教育センターエデュサポートおおいたの職員による講義や意見交換等を行いました。 12月2日(月)、2月13日(木)</p> <p>イ 身体障がい部会 介護保険移行マニュアルの作成に向けた協議や意見交換等を行いました。 12月12日(木)、2月12日(水)</p> <p>ウ 精神・知的・発達障がい 障害者就業・生活支援センター(大分プラザ)や精神科病院(衛藤病院)等の職員による講義や意見交換を行いました。 11月29日(金)、2月14日(金)</p>

令和5年度事業報告書

大分市障がい者相談支援センターさざんか

1. 概況	在宅で生活している障がい者やその家族が、住み慣れた地域の中で、自分らしくいきいきと暮らしていけるよう、地域の総合相談窓口として、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高めるための支援や情報提供等に努めました。		
2. 活動内容	(1)	研修会	10件 包括的な支援体制構築に向けた研修・令和5年度難病患者支援等従事者研修会・令和5年度九州ブロック主任相談支援専門員養成研修・社会福祉施設における感染症対策強化研修会 他
	(2)	個別調整会議	15件
	(3)	連絡調整	1,544件
	(4)	事例検討会	「令和5年度第2回大分市相談支援専門員定期事例検討会」 令和5年11月30日（木）14時30分～16時00分大分市役所 8階大会議室 57名 ・障がい者虐待の防止について ・意思決定支援と家族間の問題に関する介入について
3. 相談内訳	(1) 障がい種別	身体障がい	2,656件 66.2%
		知的障がい	66件 1.6%
		精神障がい	248件 6.2%
		重症心身障がい	261件 6.5%
		発達障がい	20件 0.5%
		難病	630件 15.7%
		その他	132件 3.3%
		合計	4,013件
	(2) 相談方法	訪問	418件 23.4%
		来所	42件 2.4%
		電話	1,172件 65.7%
		メール	152件 8.5%
		合計	1,784件
	(3) 主な相談内容	日常生活支援相談	733件 18.3%
		健康管理・服薬管理相談	496件 12.3%
		総合支援法利用支援	383件 9.5%
		医療機関との連絡調整	281件 7.0%
		移動（屋外・屋内）	263件 6.6%
		介護に関する相談	261件 6.5%
福祉用具に関する相談		234件 5.8%	
利用者家族に関する相談		204件 5.1%	
住む場所についての相談		200件 5.0%	
手帳、医療費の申請等に関する相談		179件 4.5%	
その他		779件 19.4%	
合計	4,013件		
4. その他	委託相談支援事業所として、他の指定特定相談支援事業所や障害福祉サービス事業所以外の医療や介護等の関係機関からも相談を受け、専門的な相談支援を要する困難ケース等に積極的に対応します。		

相談支援事業 年間報告書(令和5年度分)

大分市障がい者相談支援センター「さざんか」

①活動内容・時間帯別の件数

活 動 項 目		早 朝 ～8:30	午 前 8:30～	午 後 12:00～	夜 間 17:15～	合 計
会 議	自立支援協議会	0	13	1	0	14
	個別調整会議	0	2	12	1	15
	その他の会議	0	1	2	1	4
訪問相談	単 独	0	106	232	9	347
	合 同	0	35	34	2	71
来所相談	単 独	0	21	14	2	37
	合 同	0	0	5	0	5
電話相談	利 用 者	4	207	309	36	556
	行政機関	0	17	36	1	54
	関係機関	1	221	324	16	562
メール相談	利 用 者	13	43	38	42	136
	行政機関	0	0	0	0	0
	関係機関	0	4	10	2	16
連絡調整	利 用 者	6	165	294	54	519
	行政機関	0	61	124	3	188
	関係機関	1	254	551	31	837
資料等の作成	相談記録	12	389	680	117	1,198
	調整会議等資料作成	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
合 計		37	1,539	2,666	317	4,559

②障害別相談件数

相 談 内 容	障 害 区 分							合 計
	身体 障害	知的 障害	精神 障害	重症心身 障害	発達 障害	難病	その他	
手帳、医療費の申請等に関する相談支援	94	0	17	11	0	44	13	179
介護に関わる相談	182	0	8	29	0	37	5	261
日常生活支援相談	487	10	33	44	12	128	19	733
住む場所についての相談	173	2	16	1	0	6	2	200
年金等収入に関する相談	90	1	8	3	0	33	6	141
移動（屋内・屋外）	191	0	4	18	0	46	4	263
ストレス等に関する相談	37	1	20	0	0	3	3	64
コミュニケーション支援	8	0	3	0	0	0	1	12
健康管理・服薬管理相談	299	11	27	39	0	116	4	496
家族（人間）関係に関する相談	59	6	13	3	0	11	4	96
総合支援法利用支援	267	8	36	8	1	34	29	383
福祉用具に関する相談	172	0	1	34	0	23	4	234
住宅環境・改造に関する相談	29	0	0	0	0	4	0	33
社会参加に関する相談	20	1	5	1	2	0	2	31
就労に関わる相談	84	7	12	0	0	1	5	109
教育に関わる相談	5	0	0	0	0	1	0	6
危機管理に関わる相談	5	0	0	4	0	1	0	10
財産・金銭管理に関わる相談	46	0	3	0	0	2	3	54
サービス苦情に関する相談	13	1	7	2	0	3	1	27
ボランティア等に関する相談	1	0	0	0	0	0	0	1
療育に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0
医療機関との連絡調整	131	1	11	31	1	95	11	281
虐待ケース等への対応	4	0	0	0	0	0	0	4
利用者家族に関する相談	118	11	13	28	1	26	7	204
公的機関等への同行支援	5	0	1	0	0	0	0	6
社会資源等の情報提供	109	4	9	5	3	13	8	151
そ の 他	27	2	1	0	0	3	1	34
合 計	2,656	66	248	261	20	630	132	4,013
合計の実人員	450	20	62	39	7	98	46	722

令和6年度事業計画書

大分市障がい者相談支援センターさざんか

1. 目標	在宅で生活している障がい者（児）の方やそのご家族が、住み慣れた地域の中で、自分らしく暮らしていけるよう支援します。 また、関係機関からも相談を受け、専門的な相談支援を要する困難ケース等に積極的に対応します。
2. 事業内容	(1) 福祉サービスの利用援助（情報提供・相談等） (2) 社会資源の活用支援（各種支援施策に関する助言・指導等） (3) 社会生活力を高めるための支援 (4) ピアカウンセリング (5) 権利擁護のために必要な支援 (6) 専門機関の紹介 (7) 専門的な相談支援を要する困難ケース等への対応 (8) 事例検討会の開催 (9) あんしんコールにおける相談受付、連絡調整等
3. 重点項目 (推進策)	(1) 大分市からの受託事業の着実な実施 (2) 関係機関と連携を図り、困難ケース等に積極的に対応 (3) 感染症や災害への対応力の強化
4. 職員体制	職員数 8名 相談支援専門員 7名（うち主任相談支援専門員1名） 相談（支援）員 1名 うち、社会福祉士4名、精神保健福祉士2名、介護福祉士5名、介護支援専門員3名、 (複数資格所持者あり)
5. その他	

令和5年度事業報告書

大分市障がい者相談支援センターコーラス

1. 概況	例年同様、知的障害に関する相談、障害者総合支援法利用に関する相談が多かった。今年度はそれに加え、児童の手帳取得前の相談、診断を受ける前の相談が多い傾向にあった。家族の気持ちに寄り添いながら、療育や手帳に関する情報提供等を行った。		
2. 活動内容	(1)	研修会	4件
	(2)	個別調整会議	7件
	(3)	連絡調整	1734件
	(4)	事例検討会	日時：令和6年3月5日（火）14時30分～16時30分 場所：大分市保健所6階大会議室 事例内容：「独居でのキーパーソンの居ない方の事例」参加者：59名 ※年3回実施。他の2回については他事業所より報告。協働して実施した。
3. 相談内訳	(1) 障がい種別	身体障がい	34件 2.9%
		知的障がい	630件 54.1%
		精神障がい	134件 11.5%
		重症心身障がい	22件 1.9%
		発達障がい	151件 13.0%
		難病	4件 0.4%
		その他	189件 16.2%
		合計	1164件
	(2) 相談方法	訪問	170件 21.8%
		来所	41件 5.3%
		電話	563件 72.4%
		メール	4件 0.5%
		合計	778件
	(3) 主な相談内容	障害者総合支援法利用支援	341件 29.3%
		日常生活支援相談	206件 17.7%
		家族（人間）関係に関する相談	77件 6.6%
		住む場所についての相談	74件 6.4%
		療育に関する相談	62件 5.3%
		就労に関わる相談	61件 5.2%
		ストレス等に関する相談	48件 4.1%
		年金等取入に関する相談	44件 3.8%
健康管理・服薬管理相談		34件 2.9%	
社会資源等の情報提供		30件 2.6%	
その他		187件 16.1%	
合計		1164件	
4. その他		緊急時や災害時を含めて必要な支援が提供できるよう、関係機関と更なる連携強化を図り、地域づくりに努めていくことが必要。	

相談支援事業 年間報告書(令和5年度分)

大分市障がい者相談支援センター「コーラス」

①活動内容・時間帯別の件数

活 動 項 目		早 朝 ～8:30	午 前 8:30～	午 後 12:00～	夜 間 17:15～	合 計
会 議	自立支援協議会	0	9	2	2	13
	個別調整会議	0	2	5	0	7
	その他の会議	0	0	1	0	1
訪問相談	単 独	0	21	27	2	50
	合 同	0	59	60	1	120
来所相談	単 独	0	10	16	0	26
	合 同	0	6	9	0	15
電話相談	利 用 者	2	167	243	6	418
	行政機関	0	10	10	1	21
	関係機関	0	52	72	0	124
メール相談	利 用 者	0	1	1	0	2
	行政機関	0	0	0	1	1
	関係機関	0	0	0	1	1
連絡調整	利 用 者	0	159	211	22	392
	行政機関	0	111	141	2	254
	関係機関	0	446	630	12	1,088
資料等の作成	相談記録	0	79	196	67	342
	調整会議等資料作成	0	1	0	0	1
	そ の 他	0	15	19	7	41
合 計		2	1,148	1,643	124	2,917

②障害別相談件数

相 談 内 容	障 害 区 分							合 計
	身体 障害	知的 障害	精神 障害	重症心身 障害	発達 障害	難病	その他	
手帳、医療費の申請等に関する相談支援	4	8	0	1	1	0	2	16
介護に関わる相談	3	2	0	2	1	0	0	8
日常生活支援相談	4	105	41	1	13	0	42	206
住む場所についての相談	0	48	17	0	8	0	1	74
年金等収入に関する相談	0	35	7	2	0	0	0	44
移動（屋内・屋外）	0	1	0	0	0	0	0	1
ストレス等に関する相談	0	16	1	0	0	0	31	48
コミュニケーション支援	0	2	0	0	0	0	1	3
健康管理・服薬管理相談	1	22	7	0	0	0	4	34
家族（人間）関係に関する相談	0	26	12	0	7	0	32	77
総合支援法利用支援	8	201	11	10	70	2	39	341
福祉用具に関する相談	2	2	0	1	0	0	0	5
住宅環境・改造に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0
社会参加に関する相談	0	5	1	0	0	0	0	6
就労に関わる相談	1	48	5	0	7	0	0	61
教育に関わる相談	4	2	1	0	2	0	0	9
危機管理に関わる相談	0	0	0	0	0	0	0	0
財産・金銭管理に関わる相談	0	12	2	0	0	0	0	14
サービス苦情に関する相談	0	3	1	0	0	0	0	4
ボランティア等に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0
療育に関する相談	3	20	0	2	24	2	11	62
医療機関との連絡調整	0	11	5	1	1	0	1	19
虐待ケース等への対応	0	3	4	0	0	0	1	8
利用者家族に関する相談	1	12	7	0	2	0	1	23
公的機関等への同行支援	0	2	0	0	0	0	0	2
社会資源等の情報提供	1	14	2	1	6	0	6	30
そ の 他	2	30	10	1	9	0	17	69
合 計	34	630	134	22	151	4	189	1,164
合計の実人員	19	394	57	17	85	3	93	668

令和6年度事業計画書

大分市障がい者相談支援センターコース

1. 目標	関係機関と連携して、障害のある方とその家族が安心して暮らすことができるよう相談支援を行います
2. 事業内容	(1) 福祉サービスの利用援助（情報提供・相談等） (2) 社会資源の活用支援（各種支援施策に関する助言・指導等） (3) 社会生活力を高めるための支援 (4) ピアカウンセリング (5) 権利擁護のために必要な支援 (6) 専門機関の紹介 (7) 専門的な相談支援を要する困難ケース等への対応 (8) 事例検討会の開催 (9) あんしんコールにおける相談受付、連絡調整等
3. 重点項目 (推進策)	(1) 巡回家庭訪問 療育手帳を所持しているが福祉サービス利用なしの方への訪問時に、安心コールの情報提供や災害時の対応検討等を行うことで、緊急時に必要な支援が届けられるよう準備します。 (2) 相談支援事業所の連携強化 相談支援部会（地区別・分野別）を定期開催し、情報の共有・課題の整理に取り組みます
4. 職員体制	職員数 9名 相談支援専門員 7名 相談（支援）員 2名 ※保有資格…社会福祉士7名、介護福祉士3名
5. その他	

令和5年度事業報告書

大分市障がい者相談支援センターきぼう 21

1. 概況	相談は非常に多く、前年度同様、年間1万件を超える相談がありました。相談者の様々な悩みやニーズに応える相談支援を通じて、障がい者やその家族の生活を支えることができました。																																																			
2. 活動内容	(1)	研修会	16件	我が事・丸ごと地域共生社会推進人材養成研修会、高次脳機能障がい職種別研修会、発達障がい地域別研修会 ほか																																																
	(2)	個別調整会議	9件																																																	
	(3)	連絡調整	1,215件																																																	
	(4)	事例検討会	令和5年7月19日(水) 14時30分～16:00 参加者52名 「病気の母親の介護で、介護負担の高まりや社会参加の機会減少が心配される知的障がいがある方の事例」																																																	
3. 相談内訳	(1)	障がい種別 (相談内容毎の延べ件数)	<table border="1"> <tr><td>身体障がい</td><td>31件</td><td></td><td>0.3%</td></tr> <tr><td>知的障がい</td><td>18件</td><td></td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>精神障がい</td><td>9,407件</td><td></td><td>84.1%</td></tr> <tr><td>重症心身障がい</td><td>0件</td><td></td><td>0%</td></tr> <tr><td>発達障がい</td><td>426件</td><td></td><td>3.8%</td></tr> <tr><td>難病</td><td>0件</td><td></td><td>0%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1,301件</td><td></td><td>11.6%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>11,183件</td><td></td><td>100.0%</td></tr> </table>	身体障がい	31件		0.3%	知的障がい	18件		0.2%	精神障がい	9,407件		84.1%	重症心身障がい	0件		0%	発達障がい	426件		3.8%	難病	0件		0%	その他	1,301件		11.6%	合計	11,183件		100.0%																	
身体障がい	31件		0.3%																																																	
知的障がい	18件		0.2%																																																	
精神障がい	9,407件		84.1%																																																	
重症心身障がい	0件		0%																																																	
発達障がい	426件		3.8%																																																	
難病	0件		0%																																																	
その他	1,301件		11.6%																																																	
合計	11,183件		100.0%																																																	
	(2)	相談方法	<table border="1"> <tr><td>訪問</td><td>152件</td><td></td><td>1.5%</td></tr> <tr><td>来所</td><td>93件</td><td></td><td>0.9%</td></tr> <tr><td>電話</td><td>9,926件</td><td></td><td>97.5%</td></tr> <tr><td>メール</td><td>7件</td><td></td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>10,178件</td><td></td><td>100.0%</td></tr> </table>	訪問	152件		1.5%	来所	93件		0.9%	電話	9,926件		97.5%	メール	7件		0.1%	合計	10,178件		100.0%																													
訪問	152件		1.5%																																																	
来所	93件		0.9%																																																	
電話	9,926件		97.5%																																																	
メール	7件		0.1%																																																	
合計	10,178件		100.0%																																																	
	(3)	主な相談内容 (相談内容毎の延べ件数)	<table border="1"> <tr><td>症状・ストレス</td><td>9,482件</td><td></td><td>84.8%</td></tr> <tr><td>サービス利用</td><td>339件</td><td></td><td>3.0%</td></tr> <tr><td>人間関係</td><td>309件</td><td></td><td>2.8%</td></tr> <tr><td>就労</td><td>242件</td><td></td><td>2.2%</td></tr> <tr><td>日常生活</td><td>222件</td><td></td><td>2.0%</td></tr> <tr><td>健康管理</td><td>105件</td><td></td><td>0.9%</td></tr> <tr><td>情報提供</td><td>101件</td><td></td><td>0.9%</td></tr> <tr><td>住む場所</td><td>81件</td><td></td><td>0.7%</td></tr> <tr><td>金銭管理</td><td>62件</td><td></td><td>0.6%</td></tr> <tr><td>同行支援</td><td>46件</td><td></td><td>0.4%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>194件</td><td></td><td>1.7%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>11,183件</td><td></td><td>100.0%</td></tr> </table>	症状・ストレス	9,482件		84.8%	サービス利用	339件		3.0%	人間関係	309件		2.8%	就労	242件		2.2%	日常生活	222件		2.0%	健康管理	105件		0.9%	情報提供	101件		0.9%	住む場所	81件		0.7%	金銭管理	62件		0.6%	同行支援	46件		0.4%	その他	194件		1.7%	合計	11,183件		100.0%	
症状・ストレス	9,482件		84.8%																																																	
サービス利用	339件		3.0%																																																	
人間関係	309件		2.8%																																																	
就労	242件		2.2%																																																	
日常生活	222件		2.0%																																																	
健康管理	105件		0.9%																																																	
情報提供	101件		0.9%																																																	
住む場所	81件		0.7%																																																	
金銭管理	62件		0.6%																																																	
同行支援	46件		0.4%																																																	
その他	194件		1.7%																																																	
合計	11,183件		100.0%																																																	
4. その他	<p>(1) 精神保健福祉士実習生を受け入れ、現場実習の提供を行いました。</p> <p>(2) 外部研修会や勉強会への講師派遣を行いました。</p>																																																			

相談支援事業 年間報告書(令和5年度分)

大分市障がい者相談支援センター「きぼう21」

①活動内容・時間帯別の件数

活動項目		早朝 ～8:30	午前 8:30～	午後 12:00～	夜間 17:15～	合計
会議	自立支援協議会	0	12	1	0	13
	個別調整会議	0	2	7	0	9
	その他の会議	0	4	14	0	18
訪問相談	単 独	2	70	80	0	152
	合 同	0	0	0	0	0
来所相談	単 独	0	33	60	0	93
	合 同	0	0	0	0	0
電話相談	利用者	3	3,083	5,761	1,009	9,856
	行政機関	0	6	7	2	15
	関係機関	0	22	30	3	55
メール相談	利用者	0	4	1	2	7
	行政機関	0	0	0	0	0
	関係機関	0	0	0	0	0
連絡調整	利用者	0	82	194	9	285
	行政機関	0	36	67	0	103
	関係機関	0	248	532	47	827
資料等の作成	相談記録	5	3,218	5,939	1,016	10,178
	調整会議等資料作成	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
合 計		10	6,820	12,693	2,088	21,611

②障害別相談件数

相談内容	障 害 区 分							合計
	身体 障害	知的 障害	精神 障害	重症心身 障害	発達 障害	難病	その他	
手帳、医療費の申請等に関する相談支援	1	0	4	0	2	0	12	19
介護に関わる相談	0	0	0	0	0	0	1	1
日常生活支援相談	2	0	206	0	11	0	3	222
住む場所についての相談	12	1	33	0	10	0	25	81
年金等収入に関する相談	4	2	23	0	1	0	13	43
移動（屋内・屋外）	0	0	1	0	0	0	0	1
ストレス等に関する相談	1	6	8,419	0	243	0	813	9,482
コミュニケーション支援	0	0	0	0	0	0	0	0
健康管理・服薬管理相談	0	1	87	0	5	0	12	105
家族（人間）関係に関する相談	0	3	210	0	42	0	54	309
総合支援法利用支援	2	1	121	0	30	0	185	339
福祉用具に関する相談	0	0	1	0	1	0	0	2
住宅環境・改造に関する相談	0	0	1	0	2	0	3	6
社会参加に関する相談	0	0	1	0	1	0	1	3
就労に関わる相談	0	2	169	0	27	0	44	242
教育に関わる相談	0	0	1	0	0	0	1	2
危機管理に関わる相談	0	0	0	0	1	0	1	2
財産・金銭管理に関わる相談	0	2	41	0	15	0	4	62
サービス苦情に関する相談	0	0	4	0	1	0	8	13
ボランティア等に関する相談	0	0	1	0	0	0	1	2
療育に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0
医療機関との連絡調整	0	0	5	0	3	0	4	12
虐待ケース等への対応	0	0	0	0	1	0	2	3
利用者家族に関する相談	0	0	1	0	0	0	0	1
公的機関等への同行支援	8	0	26	0	7	0	5	46
社会資源等の情報提供	1	0	35	0	11	0	54	101
その他	0	0	17	0	12	0	55	84
合 計	31	18	9,407	0	426	0	1,301	11,183
合計の実人員	10	7	480	0	99	0	319	915

令和6年度事業計画書

大分市障がい者相談支援センターきぼう 2 1

1. 目標	相談者の様々な悩みやニーズに応えることにより、障がい者やその家族の生活を支える。
2. 事業内容	(1) 福祉サービスの利用援助（情報提供・相談等） (2) 社会資源の活用支援（各種支援施策に関する助言・指導等） (3) 社会生活力を高める支援 (4) ピアカウンセリング (5) 権利擁護のために必要な支援 (6) 専門機関の紹介 (7) 専門的な相談支援を要する困難ケース等への対応 (8) 事例検討会の開催 (9) あんしんコールにおける相談受付、連絡調整等
3. 重点項目 (推進策)	(1) 専門性の高い困難ケースへの対応 (2) 病院・行政機関・関係機関との連携 (3) 効果的かつ効率的な業務の推進 (4) 安定運営のための財務管理 (5) コンプライアンスの徹底
4. 職員体制	職 員 数 6名 主任相談支援専門員 1名 相談支援専門員 5名 相談支援員 1名 ※保有資格…精神保健福祉士3名、社会福祉士3名 介護支援専門員2名
5. その他	(1) 精神保健福祉士実習生の受入れ (2) 外部研修会や勉強会への講師派遣